

テーマⅡ「地域共生社会に向けての救護施設の役割」

# 救護が行う地域の生活困窮者支援

長野県

救護施設旭寮

# 長野県の救護施設

れんげ荘

旭寮

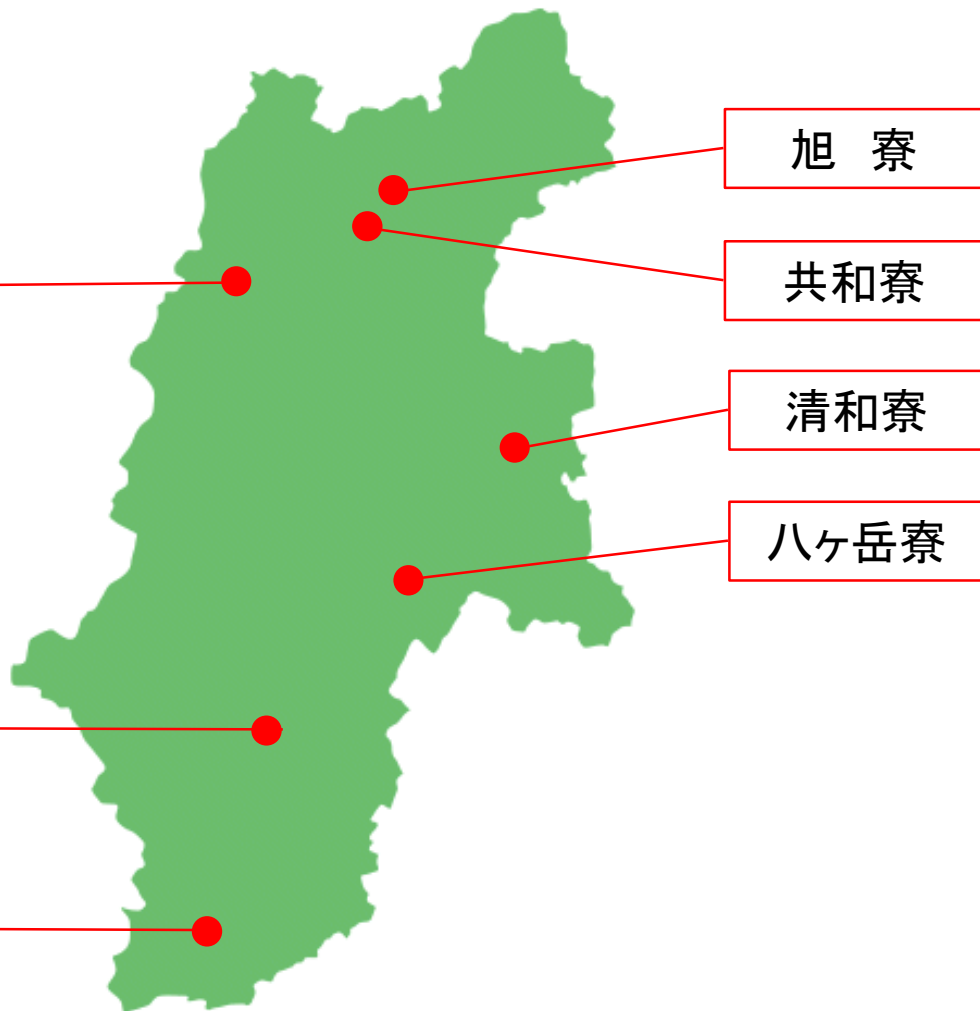
共和寮

清和寮

八ヶ岳寮

順天寮

阿南富草寮



# 法人概要

## ○ 沿革

- 昭和28年 法人設立
- 昭和42年 救護施設旭寮設立(定員50名)
- 昭和48年 定員80名に増員
- 平成14年 ホームレスの支援(独自事業)
- 平成25年 居宅生活訓練事業開始
- 平成26年 専任相談員を置き相談支援事業開始(独自事業)
- 平成27年 保護施設通所事業・自立準備ホーム事業開始
- 平成29年 就労継続支援B型事業所「あんどわーく」開所
- 平成30年 移転新築

# 本体事業以外に行っているもの

- 緊急一時生活支援「ゆめのは」(独自事業)
- 相談支援「ゆめのは」(独自事業)
- 自立準備ホーム(法務省)
- フードパントリー「むすびや」(独自事業)
- 子ども食堂(独自事業)

# 緊急一時生活支援(独自事業)

- 事業名「ゆめのは」 年間20名ほどを受け入れている
- 平成15年より1部屋2名定員でホームレスの受入を始める
- 移転新築(平成30年)後、個室4部屋で支援
- DV被害、記憶喪失で保護、家族からの虐待、犯罪の被害者、  
服役後の生活困窮者等の受入
- 利用料 無料又は3食込み1日2,000円
- 居室環境 テレビ、Wi-Fi、冷蔵庫等(洗濯機は共用)



一時生活支援の居室入り口



個室4部屋



冷蔵庫、テレビ等完備



ユニットバス

# 相談支援事業(独自事業)

- 事業名「ゆめのは」 常時20数名の利用者と契約
- 平成26年より相談員を専任でもうけ支援を始める
- 地域の生活困窮者を訪問支援
- 完全無料での支援
- 地域包括支援センター、福祉事務所、民生委員、病院等と連携



食糧支援の様子



子育て支援

# 自立準備ホーム（法務省）

- 刑務所や少年院などの矯正施設を出所後、生活困窮におちいる可能性のある方を支援
- 保護観察所と契約
- ゆめのは居室（個室4部屋）を利用
- 地域生活定着支援センターからの依頼が大半
- 年間3名ほどの利用がある

# フードパントリー「むすびや」(独自事業)

- 令和3年より、長野県社協、長野市社協、長野市社会事業協会、当法人と共同で、旧旭寮の施設建物を食料支援の倉庫として利用する事業を開始
- フードバンク活動を行っているNPOのホットライン信州やフードバンク信州等も参画
- 近隣の高校生ボランティア等と子ども食堂など地域での居場所としての展開を模索



旧旭寮



倉庫内 作業の様子



連携会議の様子

# 子ども食堂(独自事業)

○以前行っていたデイサービスのスペースを有効活用

○フードパントリー事業を通して連携が増える

- ・長野県社会福祉協議会

- ・長野県こども若者局

- ・長野市こども未来部

- ・NPO法人 フードバンク信州、ホットライン信州 など

○近隣高校のボランティア部の生徒と連携



近隣の高校生との話し合い

# 緊急一時生活支援・相談支援の事例

<Aさん 18歳未満 男性>

- 自閉スペクトラム症と診断されている
- 児童相談所からの依頼
- 発達障害があり、中学の頃から児相が関わる
- 姉とのトラブルで医療保護入院も経験
- 家を飛び出し、万引き等で補導される
- 児童相談所一時保護施設を経てからの利用

# 自立準備ホームの事例

<Bさん 20代 女性>

- 死体遺棄により懲役に服し執行猶予付きで釈放
- 自己破産状態でもあり、自立準備ホームとして受け入れる
- 相談員が積極的に支援に関わる。通院、各種手続き、  
資格(介護関係)取得支援、自立後のアパート探し等
- Bさん独立後も訪問による支援を行う。

制度の狭間？



岡山城壁の狭間(さま)







ご清聴ありがとうございました。